

個人投資家の皆様の相場環境等に対する意識調査のため、2025 年 3 月 7 日から 3 月 10 日までインターネットを通じて、マネックス証券に口座をお持ちのお客様向けにアンケート調査（回答数 1,080 件）を実施しました。回答いただいた皆様のご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。

今回、定例調査である個人投資家の相場観の調査に加え、特集として「日米セクター別業況 DI とエヌビディアの株価動向予想」等について調査しました（当社ウェブサイトへの掲載日は、2025 年 3 月 24 日です）。

「MONEX 個人投資家サーベイ」は、個人投資家の相場環境に対する意識調査としてアンケートを行い、その調査結果をまとめたものです。2009 年 10 月に第 1 回サーベイを行い、2009 年 11 月から 2016 年 3 月までは月次で、2016 年 4 月から 2016 年 12 月までは隔月、2017 年 3 月以降は四半期毎に調査結果を公表しています。

また、グループ会社であるトレードステーション証券（米国）、マネックスBOOM証券（香港）の個人投資家の皆様にも調査を行い、調査結果を「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」として公表しております。2011年6月から2016年3月までは四半期毎、2016年6月以降は半年毎、2018年12月以降は、1年毎に調査結果を公表しています（マネックスBOOM証券の個人投資家を対象とした調査は2023 年 12 月をもって終了）。

## ■調査結果

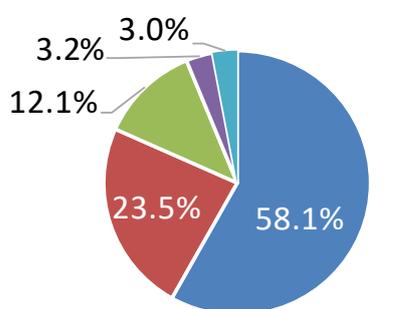
### 1. 2025年の日経平均株価およびダウ平均株価の高値・安値予想

個人投資家の相場観の調査として、2025年の日経平均株価およびダウ平均株価の高値・安値予想を調査しました。

(1-1) 2025年の日経平均株価の高値予想は「41,000円未満」が最多、安値予想は「34,000円未満」が最多

【参考 調査開始日（3月7日）の日経平均株価終値：36,887.17円】

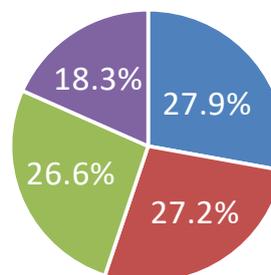
グラフ1-1:2025年日経平均株価高値予想



- 41,000円未満
- 41,000円以上42,000円未満
- 42,000円以上43,000円未満
- 43,000円以上44,000円未満
- 44,000円以上

(出所) マネックス証券

グラフ1-2:2025年日経平均株価安値予想



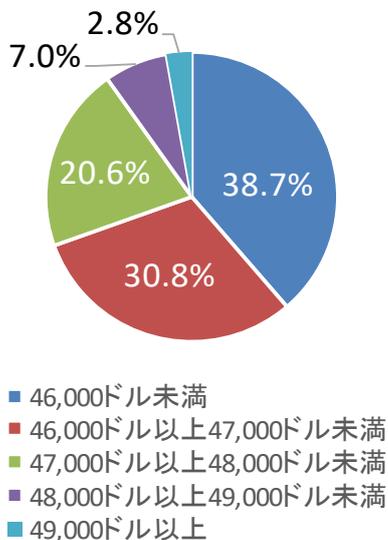
- 34,000円未満
- 34,000円以上35,000円未満
- 35,000円以上36,000円未満
- 36,000円以上

(出所) マネックス証券

(1-2) 2025年のダウ平均株価の高値予想は「46,000ドル未満」が最多、安値予想は「39,000ドル以上40,000ドル未満」が最多

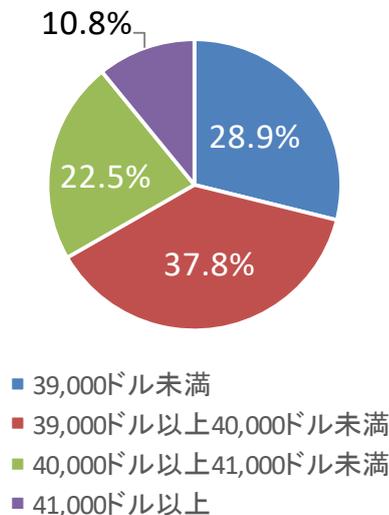
【参考 調査開始日（現地時間3月6日）のダウ平均株価の終値：42,381.56ドル】

グラフ1-3: 2025年ダウ平均株価高値予想



(出所) マネックス証券

グラフ1-4: 2025年ダウ平均株価安値予想



(出所) マネックス証券

2025年の日経平均株価の高値予想は「41,000円未満」と回答した方の割合が58.1%と最も多く、6割近くを占めています。続いて「41,000円以上42,000円未満」が23.5%となっています。安値予想は「34,000円未満」と回答した方の割合が27.9%で僅差で最多となりました。

ダウ平均株価の高値予想は「46,000ドル未満」と回答した方の割合が38.7%と最も多く、続いて「46,000ドル以上47,000ドル未満」が30.8%となっています。安値予想は「39,000ドル以上40,000ドル未満」と回答した方の割合が37.8%で最多、続いて「39,000ドル未満」が28.9%となりました。

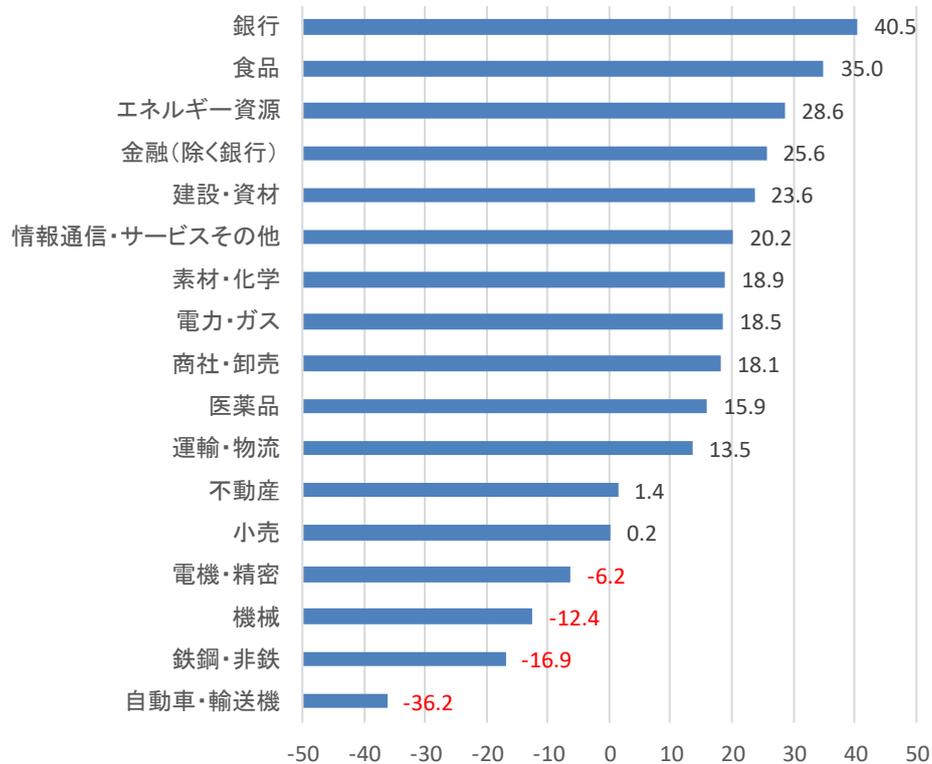
2025年に入ってから日経平均株価が終値ベースで4万円を超えたのは1月7日のみでアンケート調査前には1,000円超下落する日も見られ、ダウ平均株価も軟調に推移するなか、悲観的な見方が多い結果となりました。

## 2. 日米セクター別業況DI

日本と米国の各セクターについて、それぞれ今後3か月程度で「上昇すると思う」「変わらないと思う」「下落すると思う」のいずれになるかをたずね、「上昇すると思う」と回答した割合(%)から「下落すると思う」と回答した割合(%)を引いたポイントを業況DIとして集計しました。

(2-1)日本のセクター別業況DIは「銀行」が最高、「自動車・輸送機」が最低

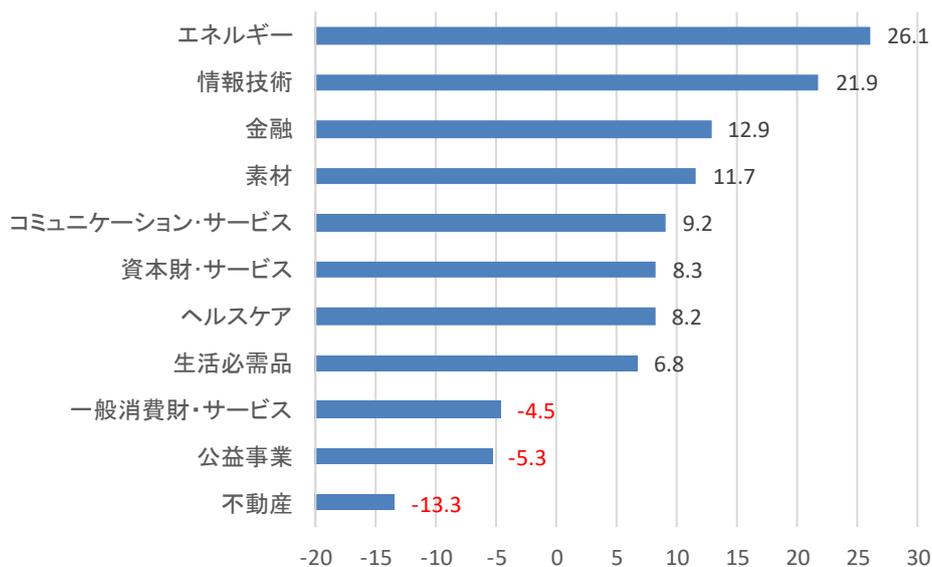
グラフ2-1: 今後3か月程度の日本のセクター別業況DI



(出所) マネックス証券

(2-2)米国のセクター別業況DIは「エネルギー」が最高、「不動産」が最低

グラフ2-2: 今後3か月程度の米国のセクター別業況DI



(出所) マネックス証券

今後3か月程度の日本のセクター別業況DIは「銀行」が40.5で最高、「自動車・輸送機」が-36.2で最

低でした。「電機・精密」や「機械」の数値もマイナスとなっています。

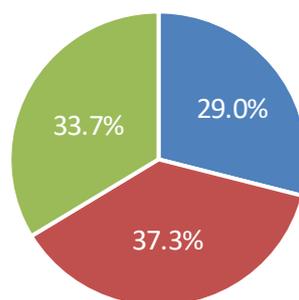
米国のセクター別業況 DI は「エネルギー」が 26.1 で最高、「不動産」が-13.3 で最低となりました。「一般消費財」や「公共事業」の数値もマイナスとなっています。

なお、日本のセクターは株価指数 TOPIX-17 の分類を、米国のセクターは世界産業分類基準（GICS）の分類をそれぞれ参考としています。

### 3. エヌビディアの株価動向予想

今後 3 か月程度でエヌビディア（NVDA）の株価がどう変化するかをたずねました。

**グラフ3-1: 今後3か月程度のエヌビディアの株価動向予想**



- 上昇すると思う
- 変わらないと思う
- 下落すると思う

(出所) マネックス証券

「変わらないと思う」と回答した方の割合が 37.3%と最も多く、続いて「下落すると思う」が 33.7%となっています。

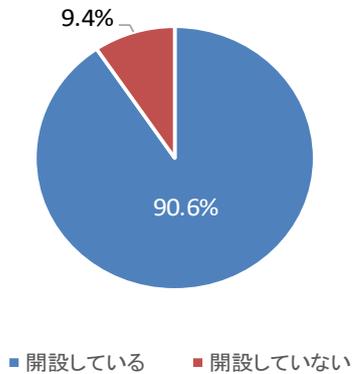
### 4. NISA 口座の利用状況

2024 年からスタートした新しい NISA 制度（以降「NISA」といいます）について、NISA 口座の利用状況や投資金額を調査しました。

(4-1) NISA 口座の開設状況と利用状況について

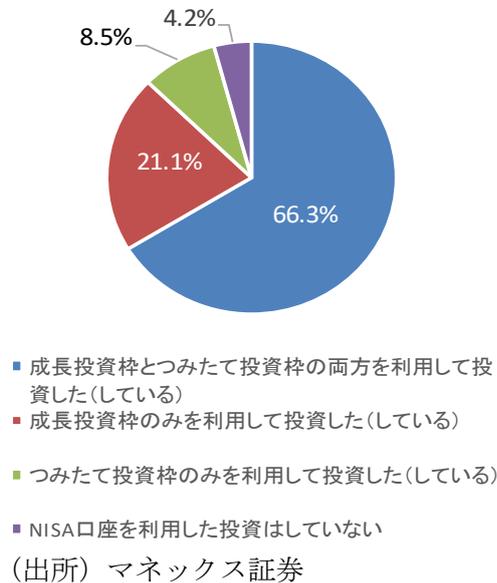
NISA 口座の開設状況と利用状況について調査しました。

グラフ4-1: NISA口座開設状況



(出所) マネックス証券

グラフ4-2: NISA口座利用状況

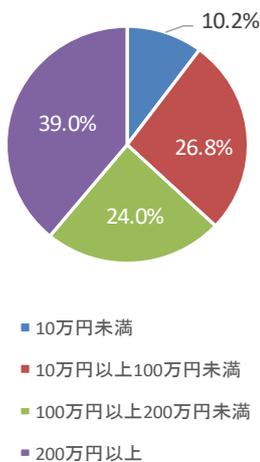


9割以上の方がNISA口座を開設していることが分かりました。利用状況は前回2024年9月の調査時とほぼ同じ割合となりました。

(4-2) 今年の成長投資枠での投資予定金額とすでに投資した金額について

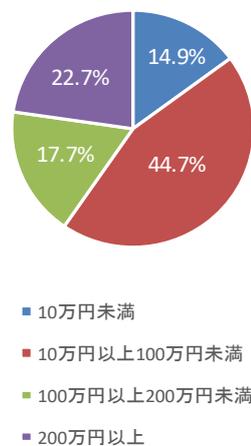
「成長投資枠とつみたて投資枠の両方を利用して投資した(している)」または「成長投資枠のみを利用して投資した(している)」と回答された方に今年の成長投資枠で投資する予定の金額とすでに投資した金額をたずねました。

グラフ4-3: 今年の成長投資枠での投資予定金額



(出所) マネックス証券

グラフ4-4: 今年の成長投資枠ですでに投資した金額



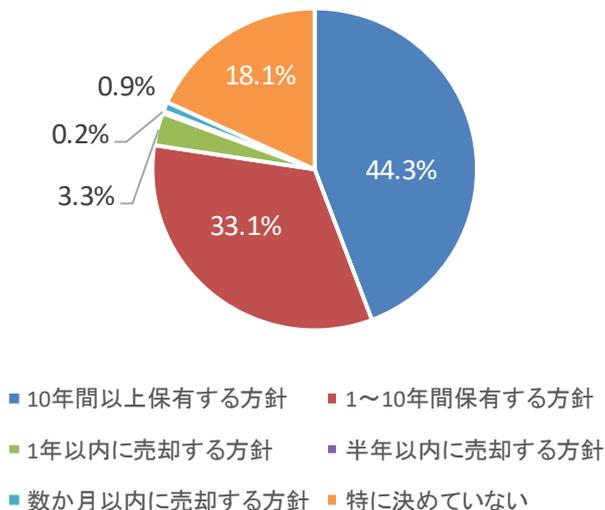
(出所) マネックス証券

投資予定金額については、成長投資枠の上限を含む「200万円以上」と回答した方の割合が39.0%で最多となりました。すでに投資した金額については「10万円以上100万円未満」と回答した方の割合が44.7%で最多となり、続いて「200万円以上」が22.7%となりました。

(4-3) 成長投資枠で保有している銘柄の保有方針について

「成長投資枠とつみたて投資枠の両方を利用して投資した（している）」または「成長投資枠のみを利用して投資した（している）」と回答された方に成長投資枠で保有している銘柄の保有方針をたずねました。

**グラフ4-5: 成長投資枠で保有している銘柄の保有方針**



(出所) マネックス証券

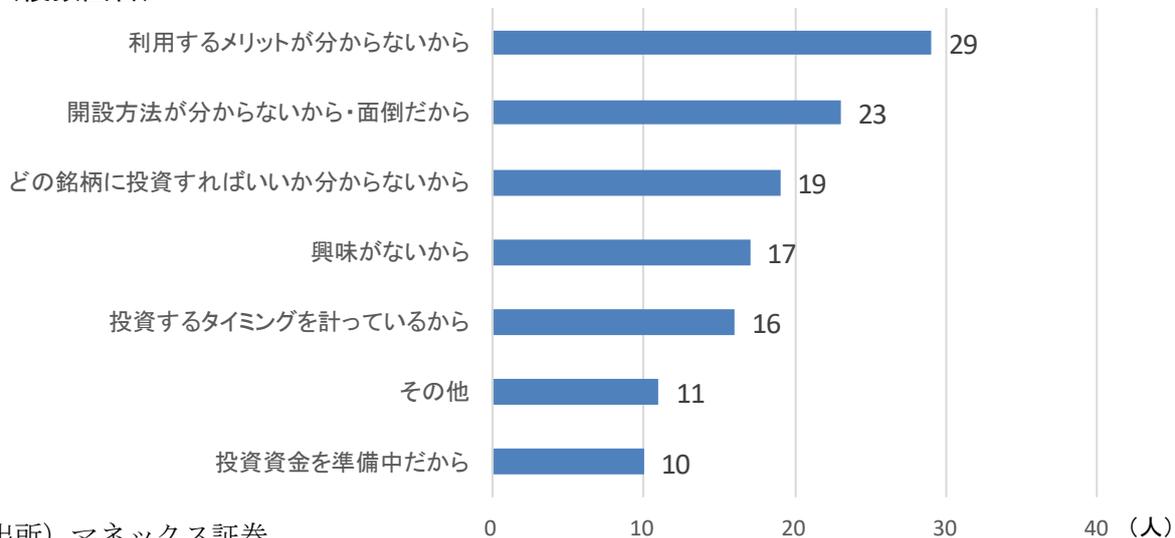
4割以上の方が10年以上保有する方針であり、1年以内あるいはそれより短期間のうちに売却する方針である方の割合はわずか数%程度であることが分かりました。

(4-4) NISA口座を開設していない理由について

「NISA口座を開設していない」あるいは「NISA口座は開設しているがNISA口座を利用した投資はしていない」と回答された方にその理由をたずねました。

**グラフ4-6: NISA口座を開設していない理由**

(複数回答)



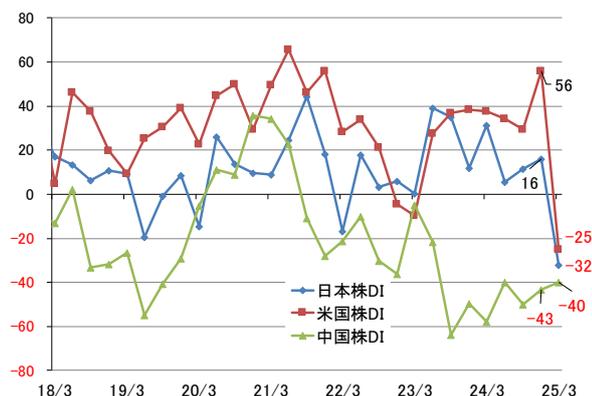
(出所) マネックス証券

NISA 口座を開設していない理由としては「利用するメリットが分からないから」という回答が最多となりました。

### 5. 日本、米国、中国の株式市場に対する見通しについて

個人投資家の相場観の調査として、今後3ヶ月程度の各国（日本、米国、中国）の株式市場に対する見通しを調査しました。

グラフ5-1: 今後3か月程度の株式市場見通し



(出所) マネックス証券

グラフ5-2: 日経平均株価(終値)と日本株DIの推移



(出所) マネックス証券

今後3ヶ月程度の各国の株式市場に対する個人投資家の見通しは、日本と米国は前回調査（2024年12月）から悪化、中国はわずかに改善しました。調査開始日の前後で日米の相場が不安定だったこともあり、慎重な見方が増えたようです。

【日本株DI】（2024年12月） 16 → （2025年3月） -32（前回比 -48ポイント）

【米国株DI】（2024年12月） 56 → （2025年3月） -25（前回比 -81ポイント）

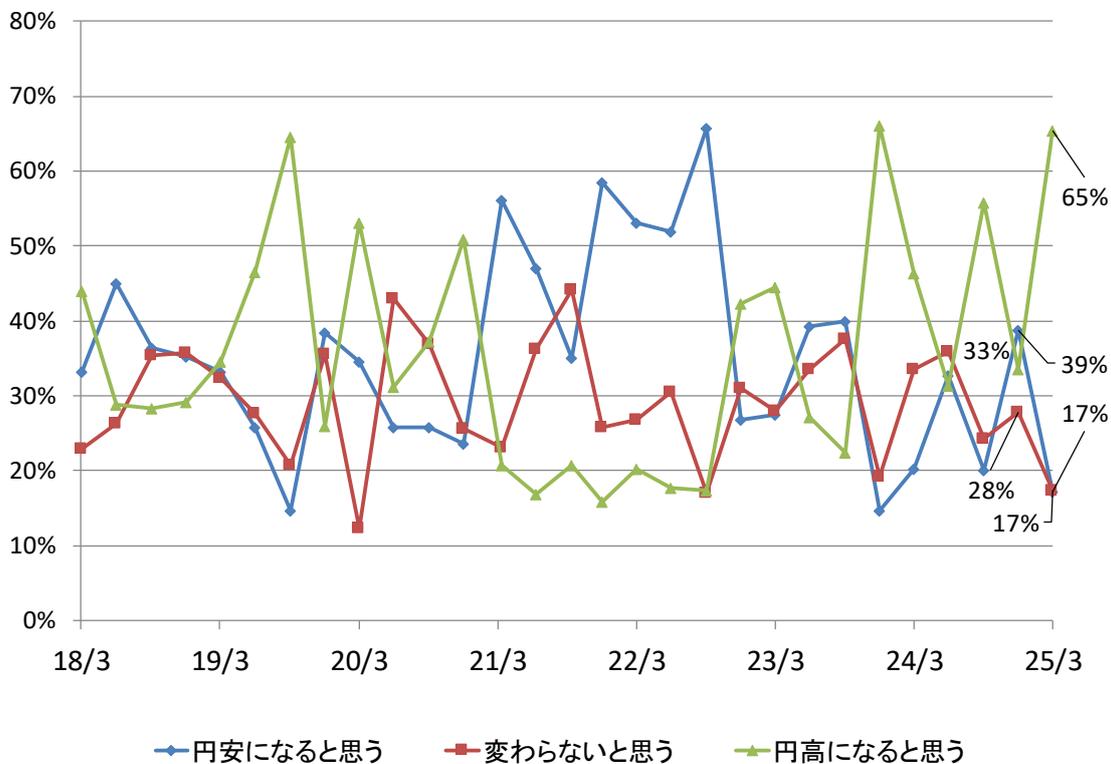
【中国株DI】（2024年12月） -43 → （2025年3月） -40（前回比 +4ポイント）

※ DI: DIとは、相場が「上昇すると思う」と回答した割合(%)から「下落すると思う」と回答した割合(%)を引いたポイントです。DIがプラスとは、「上昇すると思う」と回答した割合が高く、DIがマイナスとは、下落すると思うと回答した割合が高いことを示します。

6. 為替相場について

個人投資家の相場観の調査として、今後3ヶ月程度の米ドル／円相場に対する見通しを調査しました。

グラフ6-1: 今後3ヶ月程度の米ドル／円相場予想



(出所) マネックス証券

今後3ヶ月程度の米ドル／円相場に対する個人投資家の見通しは、「円高になると思う」が前回比+32%と大きく増加して65%となりました。一方で「円安になると思う」の割合は前回比-22%と大きく減少しました。

【円安になると思う】(2024年12月) 39% → (2025年3月) 17% (前回比-22%)

【変わらないと思う】(2024年12月) 28% → (2025年3月) 17% (前回比-11%)

【円高になると思う】(2024年12月) 33% → (2025年3月) 65% (前回比+32%)

## ■総括（マネックス証券 インベストメント・ストラテジーズ 塚本 憲弘）

今回は定例調査である 2025 年の日米株価高値・安値予想や NISA 口座の利用状況に加え、日米株のセクター別の選好や、米国株式市場をけん引してきたマグニフィセント 7 の中でも、2023 年・2024 年に最も上昇したエヌビディアの今後の株価予想について調査を行いました。

2 月中旬以降、日米の株式市場はトランプ政権の関税政策に対する不透明感などを背景に軟調に推移しましたが、そのような環境下での今回の調査となりました。今年の高値・安値予想では、設定した選択肢の中でも低い水準を選ぶ回答が多く、今後 3 ヶ月程度の日米株価見通しでも慎重な見方が急増しています。

業種の選好では、日米ともにエネルギーや金融といったシクリカル（景気循環）業種への関心が高まる一方、日本では食品、建設といった内需関連の業種、米国では引き続き情報通信が注目されるなど、選好に違いも見られました。また、エヌビディア株に対しても見方が割れるなど、これまでの上昇をけん引した業種や銘柄から視線が移りつつある印象です。なお、NISA 口座の利用状況によると、成長投資枠の活用が着実に進んでおり、また多くの方が中長期投資の視点を持っていることが分かりました。

マネックス証券では短期的な市場動向のみならず、中長期の視点でもより良い情報発信に努めてまいります。引き続き、皆様の投資対象の選定や投資成果の向上に貢献できるよう尽力いたします。

今回も皆様のご協力により、有益な調査結果を得ることができました。本調査が皆様の資産運用を考える一助となれば幸いです。

2025 年 3 月 17 日 執筆

## ■調査の概要と回答者の属性

調査方式： インターネット調査  
 調査対象： マネックス証券に口座を保有している個人投資家  
 回答数： 1,080  
 調査期間： 2025年3月7日～3月10日

### 【性別】

男性	女性	回答しない
79.6%	18.9%	1.5%

### 【年齢】

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	80歳以上
0.2%	2.1%	6.4%	19.1%	34.5%	25.3%	10.6%	1.9%

### 【金融資産】

500万円未満	500万円～1000万円	1000万円～2000万円	2000万円～5000万円	5000万円～1億円	1億円以上
18.2%	13.5%	17.7%	26.6%	14.3%	9.7%

### 【売買頻度】

デイトレード	週に数回	月に数回	月に1回	数ヶ月に1回	それより少ない
3.8%	11.1%	32.9%	19.4%	12.2%	20.6%

### 【株式投資のご経験】

1年未満	1年～5年	5年～10年	10年以上
9.6%	15.4%	14.7%	60.3%

本情報は当社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・ 本情報は売買のタイミング等を反映したのではなく、また示唆するものではありません。
- ・ 当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・ 当社は本情報の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・ 銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・ グラフの数値は、小数点以下の計算により合計が必ずしも100.0%とならない場合があります。

## マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、  
一般社団法人 日本暗号資産等取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会